

令和5年度 基本評価調書		所管部局	環境生活部	所管課	道民生活課		
施策名	交通事故のないまちづくり			施策コード	0305		
政策体系(中項目)	道民生活の安全の確保と安心の向上			政策体系コード	1(5)A		
関連重点戦略計画等	知事公約 北海道創生総合戦略					事務事業数	7
特定分野別計画	第11次北海道交通安全計画						
SDGs			総合判定		順調		
予算額(千円)	R 5	84,705千円	R 4	89,758千円	R 3	91,488千円	

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>第11次北海道交通安全計画に基づき、高齢者の交通事故防止、飲酒運転の根絶をはじめ、より重点的な交通安全対策をオール北海道で推進し、交通事故のない安全で安心な社会を目指す。</li> </ul>
現状と課題	<p>(交通安全意識の高揚)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故死者数は減少傾向にあるが、65歳以上の高齢運転者が原因となった事故死者数の減少幅が小さいことから、高齢化社会を踏まえた総合的な交通安全対策を推進する必要がある。</li> <li>道内で飲酒運転を伴う死亡事故が後を絶たないことから、飲酒運転根絶に関する施策を総合的に推進する必要がある。</li> </ul>
前年度二次評価意見	
対応状況	

### 〈主な取組〉

今年度の取組	<p>(交通安全意識の高揚)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道民の交通安全意識の向上により交通事故防止を図るため、関係機関・団体等と連携し交通安全運動を推進する</li> <li>高齢者の交通事故を防止するため、運転免許を自主返納しやすい環境づくりや、高齢者に対する交通安全教育を推進する。</li> <li>飲酒運転根絶を実現するため、啓発活動などにより意識の醸成を図るとともに、関係機関・団体・事業者等と連携し施策を推進する。</li> </ul>
実績と成果	<p>(交通安全意識の高揚)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「春」「夏」「秋」「冬」の期別運動(年間延べ40日)を、関係機関・団体、市町村等と連携して全道で実施し、交通安全意識の高揚を図った。(R4.7月、9月、11月、R5.5月、7月)</li> <li>運転免許を返納しやすい環境づくりのため、高齢者運転免許自主返納サポート制度を推進した。(R2末 27事業者196店、R3末 44事業者309店、R4末 63事業者337店)</li> <li>身体機能の低下が及ぼす影響の理解や安全運転の意識向上を図るため、高齢運転者支援講習会を市町村と共催で開催した。(R4 8市町)</li> <li>「飲酒運転根絶の日(7月13日)」に、札幌地区において関係機関・団体と連携し飲酒運転根絶総決起大会を開催した。また全道13地区においても大会等を開催し、飲酒運転根絶に向けた機運の醸成を図った。(R4、R5)</li> <li>飲酒運転の危険性や飲酒が身体に及ぼす影響等を啓発するため、児童・生徒向け教育パンフレットを作成し、小・中・高1年生に配布した。(R4.11)</li> </ul>
参考HP①	交通安全に関する施策・情報 <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/kat/">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/kat/</a>
参考HP②	
参考HP③	

〈指標分析〉 ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	減少	人	R2年	R3年	R4年	最終目標(R7)	達成率	指標判定
交通事故死者数(暦年)	目標値		134	134	134	134	116.5%	A
	実績値		144	120	115			

**設定理由** 北海道の1年間の交通事故状況を示す数値であり、北海道をはじめ関係機関・団体等、北海道全体で、高齢者の交通事故対策や飲酒運転根絶など交通安全対策に取り組んだ成果を測る指標として設定。

**指標公表時期** 毎年調査、翌年1月公表 **出典(根拠計画等)** 北海道警察調べ

分析(主な取組と成果)

関係機関と連携した各種取組を継続的に行うことにより、交通事故死者数は減少傾向にある。一方で、交通死亡事故発生件数に占める高齢運転者の割合は増加傾向、飲酒運転を伴う交通事故も後を絶たないことから、関係機関と連携し、高齢運転者の事故防止及び飲酒運転根絶に向けた各種取組を強化する必要がある。

指標名②			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

**設定理由**

**指標公表時期** **出典(根拠計画等)**

分析(主な取組と成果)

指標名③			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

**設定理由**

**指標公表時期** **出典(根拠計画等)**

分析(主な取組と成果)

指標名④			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

**設定理由**

**指標公表時期** **出典(根拠計画等)**

分析(主な取組と成果)

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

**設定理由**

**指標公表時期** **出典(根拠計画等)**

分析(主な取組と成果)

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) 高齢運転者による交通事故発生件数の割合は増加傾向であり、また飲酒運転を伴う交通事故も後を絶たないことから、関係機関・団体、市町村、企業等と連携して施策に取り組む必要がある。
	(取組) 国、関係各部署、市町村及び関係団体と連携を取りながら、「春」「夏」「秋」「冬」の期別運動や飲酒運転根絶総決起大会等の啓発活動を行い、交通安全意識の向上を図った。 麒麟ビール(株)と協力した飲酒運転根絶に向けた街頭啓発(R5.5など)、エア・ウォーター(株)等の協力を得た飲酒運転根絶ステッカーの業務用車両への貼付、損害保険ジャパン(株)と連携したシニアドライバー向け安全運転講習会の実施(R5.7)など、民間企業の協力を得て交通安全意識の高揚を図った。
緊急性 優先性	(課題) ・交通事故死者数は減少傾向にあるが、65歳以上の高齢運転者が原因となった事故死者数の減少幅が小さい。
	(取組) ・高齢運転者支援講習会においてアンケートを実施し、運転免許証を自主返納しない理由を高齢運転者向け啓発の基礎資料として活用した。

〈取組分析（その他の統計数値等）〉

□ 成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
高齢運転者（65歳以上）による交通事故発生件数	2,138件(R2)	2,311件(R3)	2,343件(R4)
分析等			
(課題) 交通事故死者数は減少傾向にあり、65歳以上の高齢運転者が原因となった交通事故発生件数は、H25年の2,674件からみると増減を繰り返しながらも減少傾向にあるが、高齢化社会を踏まえた総合的な交通安全対策を推進する必要がある。			
(分析等) 65歳以上の高齢運転者が原因となった交通事故発生件数は、課題に記載のとおり長期的には減少傾向にあるが、直近3年間のR2年からR4年を比較すると件数は増加しており、高齢化社会を踏まえた総合的な交通安全対策を推進する必要がある。			b
統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
高齢運転者（65歳以上）による死亡交通事故発生件数（死亡交通事故発生件数に占める高齢者の構成率）	43件（33.1%）(R2)	40件（34.8%）(R3)	38件（36.9%）(R4)
分析等			
(課題) 交通事故死者数は減少傾向にあるが、65歳以上の高齢運転者が原因となった死亡交通事故発生件数の構成率は増加傾向にあるため、高齢化社会を踏まえた総合的な交通安全対策を推進する必要がある。			
(分析等) 直近3年間における65歳以上の高齢運転者が原因となった死亡交通事故発生件数は減少傾向にあるが、全体件数に占める構成率は増加傾向にあり、今後も高齢化が加速していくことから、総合的な交通安全対策の推進が必要となっている。			b
統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
飲酒運転を伴う交通事故件数	94件(R2)	92件(R3)	72件(R4)
分析等			
(課題) 飲酒を伴う死亡事故が後を絶たないことから、飲酒運転根絶に関する施策を総合的に推進する必要がある。			
(分析等) 飲酒運転を伴う交通事故件数は減少傾向にあるが、依然として発生している状況にあるため、飲酒運転根絶に向けた施策の推進が必要となっている。			b

## 〈総合判定〉

指標判定	A	連携状況	○	総合判定	順調
		緊急性・優先性	○		
		その他の統計数値等	b		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

( - )

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた 対応方針	①	道民の交通安全意識の向上及び交通事故防止の徹底を図るための交通安全運動や交通安全教育の推進を継続的に行う。
	②	いわゆる「団塊の世代」が75歳以上に達し始め、75歳以上の高齢者の安全の確保は一層重要となることから、高齢運転者の事故防止対策を継続して行う。
	③	飲酒運転を伴う事故が後を絶たないことから、飲酒運転根絶に関する施策を継続して行う。

## 〈二次政策評価〉

二次政策 評価	
------------	--

<b>令和5年度 事務事業評価調書</b>	施策名	交通事故のないまちづくり	施策コード	0305
-----------------------	-----	--------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	うち 一般財源	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応 方針 番号	方向性	
0601		一般	北海道交通安全推進委員会補助金	(公財)北海道交通安全推進委員会が実施する交通安全普及啓発事業等各種事業に対する補助	道民生活課	0	46,424	46,424	0.2	0.0	0.2	47,992			
0602		一般	交通安全指導促進事業費補助金	北海道交通安全指導員連絡協議会が実施する指導員研修等各種事業に対する補助	道民生活課	0	7,233	7,233	0.1	0.0	0.1	8,017			
0603		一般	交通死亡事故抑止対策事業費	交通死亡事故の抑止を図るため高齢者の事故防止や居眠り運転事故防止に関する業務	道民生活課	0	1,691	1,691	0.9	2.2	3.1	25,995	①②	改善(取組分析)	
0604		一般	飲酒運転根絶推進関連事業	「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」の制定等を踏まえ、社会全体で飲酒運転根絶に取り組むための事業	道民生活課	0	19,550	19,550	1.8	0.6	2.4	38,366	③	改善(取組分析)	
0605		一般	交通事故相談所運営費	交通事故被害者からの相談に応ずる相談所の運営に関する業務	道民生活課	0	9,807	9,807	0.1	0.3	0.4	12,943			
0606		一般	運転免許自主返納促進事業費	高齢運転者が運転免許を自主的に返納しやすい環境づくりに関する業務	道民生活課	0	0	0	0.2	0.0	0.2	1,568			
0632		事務	交通安全対策の企画及び実施に関する事務	交通安全に関する計画策定、関係会議・協議会等の開催、運動の推進方針の企画・実施、庁内及び関係機関との調整、交通事故統計及び情報提供、年次報告書等作成、照会調査・報告、調査統計業務に関する事務	道民生活課	0	0	0	2.7	7.1	9.8	76,832			
計						0	84,705	84,705	6.0	10.2	16.2				